

# 令和4年度事業団報告書

## 事業団管理の概要

### 1. 理事会、監事会、評議員会等状況

- 令和4年5月16日 監事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開き、監事（馬淵惺敬氏、増田等氏）による令和3年度事業、会計収支決算等の全般にわたる監査を実施し、事業団定款第32条に基づき監事の承認を受けた。
- 令和4年6月3日 第151回（令和4年度第1回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し令和3年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ事業団定款第24条に基づき理事会の承認を受けた。また、定款の変更案、評議員候補者の選任、定時評議員会の招集、事業団評議員選任・解任委員の招集、令和4年度補正予算、諸規程の改正について審議を行い理事会の承認を受けた。報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について理事会に報告した。
- 令和4年6月9日 評議員選任・解任委員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、評議員の選任について承認を受けた。
- 令和4年6月22日 第13回（令和4年度第1回）定時評議員会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和3年度事業報告・会計収支決算等の審議を行い、監事監査報告のうえ、評議員会の承認を受けた。また定款の変更について審議を行い、評議員会の承認を受けた。
- 令和4年6月28日 令和4年度資産総額の変更登記について組合等登記令第3条第3項に基づき法務局への登記手続を完了した。（令和4年6月28日完了）
- 令和4年7月28日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、諸規程（運営規程の一部）の改正、共同生活援助グループホームおおぞら荘B棟新築事業・相談支援事業所たいよう移転に伴う資金計画、担保提供及び連帯保証人不要制度の利用、第2回評議員会の招集について承認を受けた。（第152回令和4年度第2回理事会）
- 令和4年8月10日 定款の変更（基本財産の増加に伴う）について所轄庁（八代市）に届出を行い受理された。
- 令和4年8月12日 社会福祉法第45条の9第10項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条の規定（評議員会の決議の省略）に基づき、共同生活援助グループホームおおぞら荘B棟新築事業・相談支援事業所たいよう移転に伴う資金計画、担保提供及び連帯保証人不要制度の利用について承認を受けた。（第14回令和4年度第2回評議員会）
- 令和4年9月5日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、令和4年度補正予算、（仮称）グループホームおおぞら荘B棟新築工事に係る入札方法の決定、工事業者の選定、諸規程（就業規則）の改正について承認を受けた。（第153回令和4年度第3回理事会）
- 令和4年10月4日 社会福祉法第45条の14第9項で準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定（理事会の決議の省略）に基づき、指名競争入札結果について（報告）、（仮称）グループホームおおぞら荘B棟新築工事に係る監理業務委託契約の承認、（仮称）グループホームおおぞら荘B棟新築工事に係る建設資金計画、諸規程（就業規則）の改正について承認を受けた。（第154回令和4年度第4回理事会）
- 令和4年11月29日 第155回（令和4年度第5回）理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、評議員選任・解任委員の選任、令和4年度補正予算について理事会の承認を受けた。また利益相反行為及び双方代理となる事項について報告した。

令和5年3月28日

第156回(令和4年度第6回)理事会を八代市立希望の里たいよう会議室で開催し、令和4年度補正予算、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算、諸規程(給与規程等)の改正、利益相反行為及び双方代理となる事項について審議を行い理事会の承認を受けた。報告事項として理事長職務執行状況報告、利益相反行為及び双方代理となる事項について理事会に報告した。

## 2. 経営計画

- ・本年度も財政改革に取組み、事務費事業費経費等の削減を実施し、将来に向けて安定経営が出来るよう各施設の運転資金等の財源確保に努めた。
- ・令和元年度より引き続き法人消費税計算方法を本則課税方式で申告し節税対策を行った。
- ・本年度は熊本県障がい福祉施設整備費補助金申請、(独)福祉医療機構より借入を行い、グループホームB棟新築工事・相談たいよう移転事業計画を進め、令和5年2月に建物引渡しを受けた。
- ・本年度は、八代市立希望の里たいよう(障がい福祉サービス事業)の指定管理者と保寿寮(養護老人ホーム)と児童発達支援センターのぞみ(障害児通所支援事業)とグループホームおおぞら荘(共同生活援助事業)と相談支援事業所たいよう(相談支援事業)を自主事業、また、保寿寮(高齢者短期入所事業)を受託事業、八代圏域地域療育センター事業を補助事業として運営。利用者に対して質の高い福祉サービスを提供し、安全で安心して利用できるような施設管理運営に努め、特に職員の意識改革を図った。
- ・処遇改善加算、特定処遇改善加算、ベースアップ加算の取得、養護老人ホーム処遇改善加算を取得し処遇改善(賃金改善)を図った。また、職員給料表の全面改正を行い、職員の昇給に取り組んだ。
- ・パワーハラスメント防止義務化に伴うあらゆるハラスメントの禁止について就業規則の改正を行った。引き続きハラスメント防止対策に取り組む。
- ・事業継続計画(BCP)を策定。大規模震災や水害など自然災害が起きたとしても、サービスを継続的に提供できるよう事業継続計画を図る。
- ・次世代育成支援対策推進法一般事業主行動計画に基づき以下のことを実施する(育児介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施)。

### ○法人、施設経営への参画意識を高める

財政面においては大変厳しい状況下にあることを職員一人一人が認識し、施設等の基準収入(措置費給付費)、受託収入、法人独自の自主事業収入を基本とし、事業経費の効率的な運用を行った。

### ○人材の育成

今、地域社会が求める福祉ニーズの内容は、より高度化、複雑化しており、このような複雑多様化するニーズに柔軟に対応しながら、福祉サービス利用者の人間性を尊重し、より満足度の高い福祉サービス提供するためには、各種業務に従事している職員一人一人が、組織人としてのモラルを高め自己啓発を行うと共に、その職種に応じた専門的知識・支援技術の向上に努めた。

## 3. グループホーム建設B棟新築事業に係る報告

- 令和4年9月 指名競争入札の実施、新築工事業者の決定「(株)豊岡建設」
- 令和4年10月 工事請負契約締結、監理業務委託契約(黄木設計)締結  
地鎮祭 工事着工
- 令和4年12月 上棟式
- 令和5年2月 完成・建物引き渡し  
※詳細についてはグループホームおおぞら荘事業報告書参照

## 4. 指定管理者の状況

- ・八代市立希望の里たいよう 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日の5年間

## 5. 施設運営の変更等

- ・特になし

## 6. 苦情相談状況

- ・各施設に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を置き、利用者が福祉サービスを適正に利用できるように相談業務を実施した。その結果、特に苦情に繋がるものはなかった。また、苦情解決相談委員会を開催し各施設の状況報告を行い、苦情解決第三者委員により助言をいただいた。

## 7. 施設長会

- ・事業団及び各施設の連携と円滑な運営を図るため、毎月1回定期的に開催した。
- ・必要に応じて臨時に施設長会を開催した。

## 8. 職員会議

- ・事業団職員の意志疎通を図り、連携を深めるため、令和4年5月、9月、令和5年2月に事業団会計庶務担当者会議を定期的実施した。なお、9月と2月に事業団内部経理監査を併せて実施した。

9. 職員研修

- ・資質の向上やキャリアアップに向け、各施設において熊本県社会福祉協議会等が主催するキャリアパス研修等の受講支援を実施。研修の伝達や内部研修・勉強会等を実施した。
- ・事業団職員としての意識向上・統一を図るため正規職員を対象とし、給与規程の改正、ハラスメント防止、事業団が求める人材、職員の質の向上、事業団の今後の展望について研修（全体集会）を行い、その後意見交換会を実施した。
- ・事業団職員が人権を正しく理解し、施設利用の皆様へのサービス向上につなげるため、各施設において虐待防止や身体拘束について研修を行い、職員一人ひとりの人権意識の高揚を図った。

10. 人事評価

- ・令和4年11月22日付、役職別及び職種別ごとに、行動評価並びに目標達成評価を実施した。評価の内容については、スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係において、課題（スーパービジョン）と達成案件を共有し、スーパーバイザーの助言により、今後の目標設定を行った。上司部下の信頼関係を構築し、個々の職員に合わせた直近で取り組むべき課題を明確にすることで、働きやすい環境作りくりに取り組んだ。

11. 人事関係

- ・事業団組織（各施設間）機能をより強化し、かつ、活性化を図りながら円滑、円満で効率的な運営ができるよう職員体制を整え、又職員の活力を図るため人事異動等を実施した。
- ・自己都合退職者<令和4年8月15日> 1名
- ・新規採用職員<令和5年4月1日> 2名

12. 寄付関係

- ・令和4年11月21日 九州ENEOS会様より「愛の募金」
  - パワーソーキット（希望の里たいようへ）
  - 九州ENEOS会「愛の募金」 自走式草刈機（希望の里たいようへ）
- ・令和4年12月20日 市婦人会連絡協議会様より
  - 20,000円（希望の里たいようへ寄付）

13. 行事実施表・・・・・・別表1

14. 自主事業及び受託施設等の運営事業状況

(1) 老人福祉施設 養護老人ホーム（入所）	保 寿 寮
(2) 障害児通所支援事業所・ 八代圏域地域療育センター事業	児童発達支援センターのぞみ
(3) 共同生活援助事業	グループホームおおぞら荘
(4) 障がい福祉サービス事業所	八代市立希望の里たいよう
(5) 相談支援事業	相談支援事業所たいよう

## 令和4年度行事实施表

月別	内 容
R4. 4	1. 辞令交付 6. グループホームA棟取扱説明 15. グループホームA棟引渡し 21. 給与支払 25. 定例施設長会(たいよう) 28. 税理士月次監査(決算)(たいよう)
5	10. 施設長・庶務担当者会議(たいよう) 10. グループホームA棟落成式中止に伴う地域挨拶まわり 11. 産休育休取得者説明会 12. 税理士月次監査(決算・消費税)(たいよう) 16. 事業団監事会(たいよう) 19. 社会保険事務講習会(桜十字ホール) 20. 給与支払 25. 定例施設長会(たいよう) 26. 新グループホームA棟へ移行 30. 令和4年度人権問題啓発推進協議会総会(ホイトハルス) 31. 県社会福祉法人経営者協議会総会・経営研修会(KKR 杉本)
6	3. 理事会(第1回) 3. グループホームA棟見学会(役員) 9. 評議員選任・解任委員会(たいよう) 20. 社会福祉法人指導監査研修会(オンライン) 21. 給与支払 22. 定時評議員会(たいよう) 22. グループホームA棟見学会(評議員) 23. 定例施設長会(たいよう) 27. 社協評議員会(ハモニ-ホール) 30. 期末勤勉手当・一時金支払 30. 人事評価中間面接
7	1. 熊本県障がい者支援課来所(グループホーム建設補助金について) 15. 臨時施設長会議(たいよう) 21. 給与支払い 25. 定例施設長会(たいよう) 26. 社会福祉法人労務研修会(オンライン) 28. 第2回理事会(決議の省略)
8	12. 第2回評議員会(決議の省略) 19. 給与支払 30. 定例施設長会(たいよう)
9	5. 第3回理事会(決議の省略) 13. 業者現地説明会(グループホームB棟新築工事) 14. 令和4年度衛生管理講習会(桜十字ホール) 21. 給与支払い 22. 庶務担当者会議・内部経理監査・インボイス対応研修会(たいよう) 27. 指名競争入札(グループホームB棟新築工事)(たいよう) 28. 定例施設長会(たいよう) 29. SNS活用会議
10	4. 第4回理事会(決議の省略) 5. グループホームおおぞら荘B棟新築工事契約 6. 年金実務研修会(桜十字ホール) 7. 税理士月次監査 11. 安全運転管理者講習(桜十字ホール) 17. 地鎮祭(グループホームおおぞら荘B棟) 21. 給与支払 25. 定例施設長会議(たいよう) 26. GH工程会議(たいよう)
11	2. 税理士月次監査(たいよう) 2. GH工程会議 7. 臨時施設長会議(たいよう) 9. 社会保険事務講習会(ハモニ-ホール) 9. GH工程会議 10. 社会保険電子申請説明会(ハモニ-ホール) 21. 給与支払い 25. 定例施設長会議(たいよう) 28. 苦情相談委員会(たいよう) 29. 第5回理事会(たいよう) 29. 永年勤続25年表彰1名 30. GH工程会議
12	6. 社会保険電子申請出張相談(たいよう) 7. GH工程会議 9. 期末勤勉手当・一時金支払 9. 要配慮者利用施設防災対策研修(オンライン) 12. 税理士月次監査(たいよう) 14. GH工程会議 18. 職員採用試験(たいよう) 21. 給与支払い 21. GH工程会議 22. 税理士月次監査年末調整(たいよう) 26. 定例施設長会議 28. 仕事納め式 28. 年末調整支払 28. グループホームB棟上棟式
R5. 1	4. 事業団仕事始め式(各施設) 11. GH工程会議 18. GH工程会議 19. 給与規程改正会議 20. 給与支払 23. 税理士月次監査(給与支払報告書) 25. 定例施設長会議 25. GH工程会議 31. GH工程会議
2	6-24. 市出資団体及び指定管理者の監査(市監査委員事務局) 8. 社会福祉法人制度改革対応セミナー後期(熊本メッセ) 8. GH工程会議 9. 会計実務研修会(医師会館) 10. 臨時施設長会議(たいよう) 15. GH工程会議 16. 社会福祉法人指導監査(市健康福祉政策課)(たいよう) 17. 税理士月次監査 17. グループホームおおぞら荘B棟消防検査 21. 給与支払い 22. GH工程会議 22. 庶務担当者会議・内部経理監査 24. 定例施設長会議(たいよう) 24. グループホームおおぞら荘B棟引渡し検査 26. 職員採用試験(たいよう) 27. 苦情解決第三者委員研修(ワンデマンド配信) 28. グループホームおおぞら荘B棟引渡し
3	17. 地域福祉活動計画策定評価委員会(市役所) 20. 共同募金審査委員会(市社協) 20. 給与・一時金支払 23. 定例施設長会議(たいよう) 24. グループホームおおぞら荘B棟竣工検査(熊本県障がい者支援課) 27. 社協評議員会(千丁コミセン) 27. 新採職員手続き説明会 28. 第6回理事会(たいよう) 29. 事業団正職員会議(全体集会)

## 令和4年度 指定相談支援事業所たひよう事業報告書

### (1) 設置目的

地域の障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等や家族等からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援及び地域相談支援等を行うと共に関係機関や福祉サービス提供事業者と連絡調整や権利擁護のために必要な援助を行い、その他の便宜を総合的に供与し、障がい者（児）が安心して地域生活が営むことができるように支援することを目的とする。

(2) 設 置 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団

(3) 所 在 地 八代市日奈久平成町 1-1 養護老人ホーム保寿寮内

(4) 事業開始年月日 平成27年4月1日

### (5) 実施事業内容

1. 指定一般相談支援事業・・・令和4年度につきましては実施なし（該当者なし）

#### ①地域移行支援

障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。

#### 対 象

ア 障害者支援施設、のぞみの園又は療養介護を行う病院に入所している障害者。

※児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設等に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象

イ 精神科病院等に入院している精神障害者。

※入院期間が1年以上の者

※入院期間が1年未満である者であっても措置入院や医療保護入院者で住居の確保などの支援を必要とする者や、地域移行支援を行わなければ入院の長期化見込まれる者についても対象

#### ②地域定着支援

居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。

#### 対 象

ア 居宅において単身であるため緊急時の支援が見込めない状況にある者

イ 居宅において家族と同居している障害者であっても、当該家族等が障害、疾病等のため、障害者に対し、当該家族等による緊急時の支援が見込めない状況にある者

### ③基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

## 2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

- ① 障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障がい者若しくは障がい児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障がい者の心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、利用する障害福祉サービス又地域相談支援の種類及び内容等を記載したサービス等利用計画案を作成する。

「サービス等利用計画案等の記載事項」

- ア 利用者及びその家族の生活に対する意向
- イ 総合的な援助の方針
- ウ 生活全般の解決すべき課題
- エ 提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期
- オ 福祉サービス等の種類、内容、量
- カ 福祉サービス等を提供する上での留意事項
- キ モニタリング期間

- ② 支給決定若しくは支給決定の変更の決定後に、指定障害福祉サービス事業者、指定一般相談支援事業者との連絡調整等の便宜を供与するとともに、支給決定又は地域相談支援給付決定に係るサービスの種類及び内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」を作成する。

「サービス等利用計画等の記載事項」

サービス等利用計画案の内容に加え、次の事項を追加。

- ア 福祉サービス等の利用料
- イ 福祉サービス等の担当者

対象者

- ア 計画相談支援

障害福祉サービスの申請若しくは変更の申請に係る障害者若しくは障害児の保護者又は地域相談支援の申請に係る障害者。

- イ 障害児相談支援

障害児通所支援の申請若しくは変更の申請に係る障害児の保護者。

### ③継続サービス利用支援及び継続障害児支援利用援助

支給決定障害者等が、支給決定の有効期間内において、サービス等利用計画又は障害児支援利用計画が適切であるかどうかにつき、モニタリング期間ごとに、障害福祉サービス等の利用状況を検証し、その結果及び心身の状況、その置かれている環境、サービスの利用に関する意向その他の事情を勘案し、「サービス等利用計画」の見直しを行い、その結果に基づき次のいずれかの便宜を供与する。

ア「サービス等利用計画」を変更するとともに、関係者との連絡調整等を行う。

イ 新たな支給決定若しくは支給決定の変更の決定又は地域相談支援給付決定が必要と認められる場合において、当該支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者に対し、当該申請の勧奨を行う。

#### 対象者

指定特定相談支援事業者が提供したサービス利用支援により「サービス等利用計画」が作成された支給決定障害者等又は地域相談支援給付決定障害者。

#### ④基本相談支援

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じる。

(6) 職員の資質向上に向けた取り組み。 内部研修の実施・外部研修への参加

①八代市障がい者支援協議会相談支援部会への参加。(事例検討など勉強会)

②熊本県県南地域相談支援事業所連絡協議会への参加。(事例検討など勉強会)

(7) 関係機関等との連携

①利用者並びにご家族との面会、連絡を密に図り、②に記載している機関等への協力体制を実施するため、利用者を中心としたネットワーク作りに努めました。

②八代市担当課並びに保健師、福祉事務所、熊本県、担当地域振興局、社会福祉協議会、障がい者(児)事業所、医療機関、職業安定所、支援学校等、民生児童委員、障がい者相談員等との連携に努めました。

③サービス担当者会議等により、本人の希望等、計画への共通理解、情報共有を図った。

④コロナの状況を常に把握し、リスクレベルに応じた対応を行った。

(8) 利用者数(契約者数)

対象者	利用者数(令和5年3月末現在)
障がい者	36名
障がい児	46名
計	82名

(9) 実施支援数

①訪問相談	23件	④サービス担当者会議等	53件
②来所相談	4件	⑤関係機関との調整	228件
③電話相談	103件	⑥同行・調査等	686件

(10) 計画相談支援・障がい児計画相談支援

計画相談支援	
契約者数	36 名
1. サービス等利用計画作成	19 件
2. モニタリング	66 件
3. サービス担当者会議実施加算	6 件
4. サービス担当者会議集中支援加算	16 件
5. サービス提供時モニタリング加算	252 件
6. 医療・保育・教育機関等連携加算	0 件
7. 居宅介護支援事業所等連携加算	0 件

障がい児計画相談支援	
契約者数	46 名
1. サービス等利用計画作成	52 件
2. モニタリング	78 件
3. サービス担当者会議実施加算	7 件
4. サービス担当者会議集中支援加算	5 件
5. サービス提供時モニタリング加算	79 件
6. 医療・保育・教育機関等連携加算	2 件

※コロナ対策として、アクリルパーテーションの設置、スマホやパソコンによるズーム会議、訪問面接などはコロナのリスクレベルに応じ、電話や郵送により相談業務を実施。



# 老人福祉施設 養護老人ホーム 保 寿 寮

## 1. 設置目的

環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を入所させて養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会参加活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする。

## 2. 基本方針

- ・入所者の人格を尊重し、思いやりの心と笑顔で接します。
- ・安全で安心な生活環境を提供します。
- ・それぞれの能力にあった支援を計画的に行います。
- ・開かれた施設・地域に根ざした施設を目指します。
- ・職員は資質向上を目指し、常に努力します。

## 3. 処遇方針体系（別紙資料1）

## 4. 入所者の状況

令和4年4月1日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	20	30	50
	市外	0	0	0
	合計	20	30	50
平均年齢		79.1	83.0	81.4
最高年齢		93	99	—
最低年齢		69	68	—

市外入所者内訳

令和5年3月31日現在

	入所者数			
		男	女	合計
入所状況	市内	20	30	50
	市外	0	0	0
	合計	20	30	50
平均年齢		78.0	83.8	81.5
最高年齢		89	100	—
最低年齢		69	69	—

市外入所者内訳

## 5. 年齢別入所状況

令和4年4月1日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	5	5	5	2	2	0	20
女	0	0	2	4	4	6	9	3	2	30
合計	0	0	3	9	9	11	11	5	2	50

令和5年3月31日現在

	59歳以下	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95歳以上	合計
男	0	0	1	7	4	6	2	0	0	20
女	0	0	1	5	4	5	9	4	2	30
合計	0	0	2	12	8	11	11	4	2	50

6. ショートステイ利用状況

利用者 1名(男1名 女0名)

- ・理由・・・私的
- ・延べ日数・・・36日

7. 外部介護サービス利用状況

・サービス内容：通所介護事業所（デイサービスセンター）利用

令和4年4月1日現在 合計13名  
 (要支援6名、要介護者8名)

令和5年3月31日現在 合計15名  
 (要支援5名、要介護者10名)

	利用者数
男	5
女	9
合計	14

	利用者数
男	6
女	9
合計	15

8. 障害者加算認定対象者増減状況

令和4年4月1日現在

(身障1名、知的3名、精神6名)  
 医療的診断書0名)

令和5年3月31日現在

(身障0名、知的2名、精神6名)  
 医療的診断書0名)

	対象者数
男	5
女	5
合計	10

	対象者数
男	4
女	4
合計	8

9. 職員の配置状況

令和4年4月1日現在

令和5年3月31日現在

職 種	人数
施設長	1
事務員兼支援員	1
栄養士(嘱託)	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	1
支援員(嘱託)	1
支援員(臨時)	2
嘱託医	1
合計	12

職 種	人数
施設長	1
事務員兼支援員	1
栄養士(嘱託)	1
看護師	1
主任生活相談員	1
生活相談員	1
主任支援員	1
支援員	0
支援員(嘱託)	2
支援員(臨時)	2
嘱託医	1
合計	12

10. 施設整備状況

日付	整備箇所	整備理由	金額
4/19	厨房シンク排水トラップ交換	劣化により水漏れする為	18,700 円
6/28	低濃度 PCB 混入分析及び高圧コンデンサ交換	製造年数が古く検査交換が必要な為	242,000 円
7/12	居室エアコン交換工事	劣化による機能低下の為	184,800 円
8/9	屋外給水管修繕	水漏れによる破損の為	60,500 円
8/20	ショートステイエアコン取替工事	劣化による機能低下の為	170,500 円
8/23	居室トイレ漏水修繕	配管漏水の為	25,300 円
8/24	排煙設備修繕	動作不良の為	209,000 円
8/25	居室エアコン修理	動作不良の為	54,450 円
9/8	居室エアコン取替工事	劣化による機能低下の為	139,700 円
9/22	誘導灯バッテリー取替	灯火不良の為	18,150 円
10/8	浴室換気扇取替工事	動作不良の為	58,300 円
10/21	浄化槽修理及び蓋枠取替工事	劣化による破損が見られた為	426,690 円
11/29	非常用照明器具バッテリー取替	灯火不良の為	60,500 円
1/30	給水サーバーカートリッジ交換	定期交換が必要な為	41,800 円
3/15	補助散水栓用ホース取替	劣化により水漏れが見られた為	39,600 円
3/15	誘導灯修繕	灯火不良の為	61,600 円
3/21	負荷開閉器更新工事	経年劣化により交換が必要な為	495,000 円
<p>設備整備合計金額：2,306,590 円</p>			

## 11. 令和4年度保寿寮入所者異動表

### ①. 在籍者数（月初現在）

単位：人

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

### ②. 入退所状況

#### (1) 入所(7名) (昨年度13名)

月/日	氏名(男女別)	入所前居住先
7/1	女性	自宅
8/31	女性	自宅
11/22	男性	自宅
11/24	男性	サービス付き高齢者向け住宅
12/1	男性	養護老人ホーム
2/1	女性	自宅
3/31	女性	病院

#### (2) 退所(7名) (昨年度13名)

月/日	氏名(男女別)	退所先
6/10	男性	病院
8/22	女性	病院
11/10	男性	死亡(病院にて)
11/18	女性	病院
11/21	女性	病院
1/20	女性	病院
3/22	男性	病院

## 12. 事故報告件数

令和4年度件数 29件 (昨年度51件)

(内訳)

- ①転倒(屋内) 20件 (昨年度33件)
- ②転倒(屋外) 1件 (昨年度1件)
- ③誤嚥(食事) 0件 (昨年度0件)
- ④服薬(誤飲) 2件 (昨年度2件)
- ⑤無断外出 4件 (昨年度7件)
- ⑥救急医療 0件 (昨年度0件)
- ⑦その他 2件 (昨年度7件)

※職員会議にて報告・検討

## 13. 苦情相談件数

令和4年度件数 4件(内:未解決0件)(昨年度12件)

(内訳)

- ①他入所者とのトラブル 0件 (昨年度4件)  
(暴力・暴言等)
- ②被害妄想と思われるもの 0件 (昨年度0件)  
(居室侵入等)
- ③職員の対応等に対するもの 0件 (昨年度1件)
- ④身元・地域・事業所等外部からの苦情相談 2件 (昨年度0件)
- ⑤その他 2件 (昨年度7件)

※職員会議にて報告・検討

## 14. 家族及び身元引受人との関わり

### ①緊急時の連絡調整

- ・入院、通院時の立ち合い、協力等

### ②入所中の状況・健康管理

- ・誕生月にて生活、健康状況等を各担当より文書にて報告

※コロナ前は誕生月に合わせて面会を実施していた。

### ③預貯金管理・報告を定期的に行った。

### ④希望者については、外出・外泊を実施し、入所者の精神安定に努めた。

※感染者数の減少を考慮。(冠婚葬祭等)

### ⑤面会については会議室を用いて、ソーシャルディスタンスを図り、パーティションを用いて実施した。人数によっては玄関先にてガラス越しに行った。

## 15. 職員の資質向上に向けた取り組み

### ①内部研修の実施

- ・高齢者虐待防止研修
- ・感染症予防研修(コロナ・食中毒・ノロウイルス等)
- ・ハラスメント防止研修(運営規程に基づく)
- ・介護、対人援助技術、相談援助技術向上に向けた取り組み(運営規程に基づく)

### ②資格取得に向けた取り組み

- ・社会福祉主事  
入職3年以内の職員に対し社会福祉主事任用資格取得を実施した。

## 16. 地域貢献事業(地域との交流等)

### ①日奈久小学校4年生との交流会

自己紹介並びにダンスの動画視聴。お礼として文房具並びに感謝状を渡した。

### ②どんどや開催

日奈久校区下西町の協力により、櫓等を設営し開催した。

### ③日奈久校区婦人会との交流

敬老会開催に伴う記念品の贈呈。

### ④実習受け入れ

熊本学園大学ソーシャルワーク実習受入3名。

## 17. 令和4年度保寿寮コロナ感染予防に伴う取り組み

### ①職員、入所者への健康確認並びに検温の実施(毎日・チェック表記入)

### ②寮内アルコール消毒、手すり・ドア・机・イス・パーテーション(毎日チェック表記入)

### ③食堂パーテーションの設置

### ④入寮される方、全員に対し検温、受付名簿記入

### ⑤面会場所の確保(ソーシャルディスタンス・パーテーション設置)

### ⑥コロナ感染予防研修(動画、チェックリスト、ゾーニング、役割確認等)

### ⑦マスク、アルコール、防護服の購入等

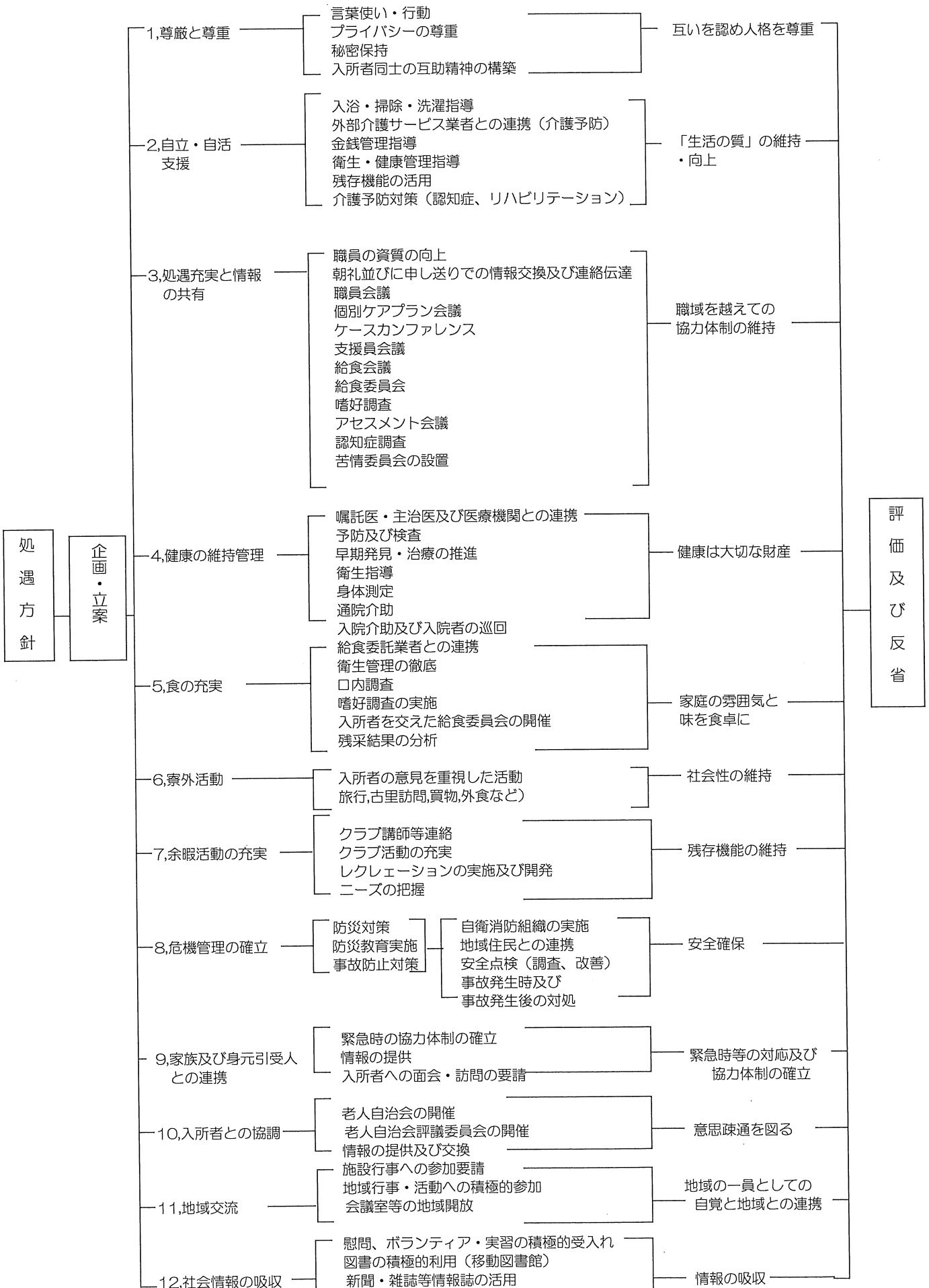
### ⑧熊本県新型コロナウイルスリスクレベル基準に基づく行動のお願い

※職員、入所者、家族等(外出・面会の自粛等)

### ⑨寮内レクリエーションの取り組みを増加した。(運動に伴うもの)

### ⑩食事に関する取り組み(食べたいものを聞き取り昼食介助、焼き芋等)

処遇方針体系



## 行 事 実 施 表

月別	月 例 行 事	寮 内 行 事	健 康 衛 生	地域交流・慰問 関係・その他
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会</li> <li>・職員会議</li> <li>・ケアプラン会議</li> <li>・アセスメント会議</li> <li>・理髪</li> <li>・体調測定</li> <li>・誕生会</li> <li>・コーヒータイム</li> <li>・カラオケ</li> <li>・特別メニュー食(月1回)</li> <li>・買物日</li> <li>・誕生月に御家族への近況報告 (各担当から処遇報告)</li> </ul>	鯉のぼり作成・展示、 預貯金報告、 地域清掃	介護訪問調査、 感染症対策委員会	
5		菖蒲風呂、地域清掃	認知症調査、介護訪問調査、	
6		苗植え(から芋)、 寮内草取り 防災訓練(津波・洪水)	介護訪問調査、保健衛生指導、 給食委員会、エアコン清掃、 水質検査(温泉水) 室内消毒、身体拘束適正化委 員会、レジオネラ症防止対策 に関する勉強会、	
7		七夕、預貯金報告 全体レクリエーション	検尿、健康診断(心電図・一般 採血・リトゲリ)、介護訪問調査、 感染症対策委員会	
8			嗜好・口内調査、介護訪問調 査、換気扇・トイレ排水溝掃 除、布団クリーニング	
9		敬老会、彼岸供養法話、 寮内草取り・片付け、 地域清掃	給食委員会、介護訪問調査、 消防設備点検、身体拘束適正 化委員会、施設内外安全点検	熊本学園大学生実習受入
10		寮内草取り、 預貯金報告、 防火避難(昼間想定) 芋掘り	介護訪問調査、インフルエン ザ予防注射、嗜好調査、浄化 槽清掃、貯水槽清掃、ワック ス清掃、感染症対策委員会	
11		寮内草取り 妙見祭神馬奉納	介護訪問調査、エアコン清掃、 室内消毒、	
12		忘年会、正月用品買物、 大掃除、ゆず風呂	保健衛生指導、介護訪問調査、 ガラス清掃、給食委員会、上 水道水法定検査、浴槽水検査	
1		若風呂、初詣 預貯金報告、どんどや	感染症対策委員会、 介護訪問調査	どんどや櫓設置
2		豆まき 防災避難訓練(夜間想定)	食事摂取調査、給湯器洗浄 消防設備点検、介護訪問調査、 身体拘束適正化委員会、 室内外安全点検、	入所者現況調査 熊本学園大学生実習受入
3		彼岸供養、花見 全体レクリエーション	給食委員会 健康診断(心電図・一般採血・ 検尿)、介護訪問調査	

※ケースカンファレンス(随時実施) ※預貯金払出(毎月1回・随時) ※入浴(月・水・金) ※移動図書(毎月1回)

※クラブ活動

・生 花・毎月1回(8名) ・詩 吟・毎月2回(5名) ・書 道・毎月2回(7名) ・音 楽・毎月2回(希望者)  
・園 芸・随時活動(希望者) ・カラオケ・随時活動(希望者) ・魚釣り

※ワックス清掃(年1回) ※冷暖房機・空調機清掃(年2回) ※ガラス清掃(年1回) ※害虫消毒(毎月)

※室内消毒(年2回) ※各種施設点検(随時)

# 令和4年度 障害児通所支援事業所児童発達支援センターのぞみ事業報告書

## 1、施設理念

- ① 親子療育を基本とし、療育を通してよりよい家庭関係が育つように支援する。
- ② お子さんが生活しやすくなるように、一人ひとりに応じた支援を行う。

## 2、基本方針

- ① 懇切丁寧に適切な指導技術をもって指導する
- ② 児童の個々の状況に応じた通所支援計画を作成し、その計画に即した適切な療育支援を提供するため、一日一定時間以上の個別指導を実施する
- ③ サービス提供方法等について理解しやすいように説明を行い、関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図る。
- ④ サービス提供終了に際しては、児童又はその家族に対して適切な指導を行うと共に関係する市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、サービス支援の情報提供に努める。
- ⑤ 児童それぞれの人格を尊重し、プライバシーの保護に努める。
- ⑥ 苦情解決の第三者委員による苦情処理に添った問題解決に努める。
- ⑦ その他、指定障害児通所支援事業所の提供上必要な支援を行う。

## 3、職員配置状況(令和5年3月31日現在)

職 種	職員数	勤務形態
管理者	1	常勤・兼務
児童発達支援管理責任者	1	常勤・専従
児童指導員	1	常勤・専従
保育士	2	常勤・専従
保育士	2	常勤・兼務
訪問支援員	1	常勤・兼務

## 4、利用者年齢別(令和4年3月31日現在)

	012	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	高1.2
男	5	3	5	6	6	4	3	5	1	0	0	1	2	2
女	4	1	1	3	3	0	3	0	5	1	0	1	1	1
計	9	4	6	9	9	4	6	5	6	1	0	2	3	3

## 5、利用者障害別(令和4年3月31日現在)

種 別	児童発達支援
知的障がい	8
自閉症・情緒	9
肢体不自由	0
その他	0
未診断	11
計	28

種 別	放課後等データベース	
特別支援学校	6	
支援学級	知的障がい	5
	自閉症・情緒	15
	肢体不自由	1
通常学級・通級	12	
計	39	

※療育手帳 A2(2名), B1(2名), B2(3名) / ※療育手帳 A2(2名), B1(3名), B2(7名)、精神(4名)、身障(2名)



## 6、療育の内容

### 児童発達支援

#### 1)年齢別クラス

- ・活動 火・水・木・金は9時00分～11時00分、  
火・木は13時30分～15時30分年齢別クラスで支援を実施。
- ・対象児 年齢別(年長、年中、年少、0、1、2歳児)の各10名程度の子どもと保護者。
- ・目的 小集団の活動を通して、日常生活や社会生活に適応できるような、運動能力、認知理解  
コミュニケーション能力を促す。また、保護者のいろいろな「困りごと」に対応。
- ・個別的指導 1日一定時間以上の個別的指導を実施。

#### 2)身辺自立クラス

- ・活動 月曜日から金曜日までの間(所要時間:約1時間)支援を実施。
- ・対象児 身辺面において「自立」に専門的な支援が必要とおもわれる子ども。
- ・目的 「自分のことは自分で」の意識を育てることで人との関わりで大切なマナーを知ること  
を目的とし、子どもとその保護者に分かりやすい手順や場所の環境設定を指導。

### 放課後等デイサービス

- ・活動 月曜日から金曜日まで支援を実施。
- ・対象児 就学児童の10名程度の児童とその保護者。
- ・目的 生活能力の向上のために必要な訓練を行い、また、社会との交流を図ることができるよう  
指導及び訓練を行う。

#### ※土曜日療育

- ・活動 第2土曜日(療育時間:8時30分～14時30分)支援を実施。
- ・対象児 就学前又は就学児童の10名程度の子ども。
- ・目的 自分のことは自分でいき、保護者以外の人と関わる経験を積み、異年齢の子どもと関わる  
機会を作る。

### 保育所等訪問支援

- ・活動 月曜日8時30分～17時30分、
- ・対象児 障害児通所給付を受けた児童
- ・目的 障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な支援を  
行う

#### 一週間の流れ

曜日 時間	月	火	水	木	金	第2土
8:30～12:30	保育所等訪問	年少児	年中児	年中児	0,1,2歳児	8:30～14:30 ・児童発達支援 ・放課後等デイ ・身辺自立
13:30～17:30	保育所等訪問	年長児		年長児		
	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	放課後等デイ	

7、事故報告件数 1件 内訳:サーキット室で捻挫

8、ヒアリハット件数 0件

9、苦情相談件数 0件 (意見箱)

※令和5年3月、保護者等からの事業所評価と事業所における自己評価を行い、令和5年3月末に  
集計結果と業務改善点を廊下に掲示し公表している。

#### 主な要望・改善点

- ・長期休暇中の療育時間をもう少し長めにとってほしい。(放課後等デイ保護者)
- ・子どもさんが通っている園を年に1回訪問することを目標にしていたが達成できなかった。  
令和5年度は計画的に実施する。(スタッフ)

10、三次圏域(拠点施設:熊本県こども総合療育センター、南部発達障がい者支援センターわろつ)、二次圏域(八代圏域地域療育センター)からの支援 ※行事実施表記載

11、評価

- ・令和4年度は「定型発達を学び肢体不自由児の姿勢・運動について理解を深めること」を事業所全体の目標とした。拠点施設に運動発達から見立て・手立ての方法を深めるためのスキルと療育の現場から家庭と保育園につなぐためのスキルについて助言をいただいた。結果、子どもさんが通われている保育園の支援者に向け、専門的な支援方法を共有することができた。
- ・家族支援プログラム講座(6回コース×2)を児童発達支援の保護者を対象に実施した。「自分自身、こども、家庭のことを見つめなおす良い機会でした。他のお母さん方とお話もできて参考になりました」と意見をいただいた。児童発達支援センターとして求められる丁寧な家族支援に取り組めた。
- ・「発達支援」「家族支援」「地域支援」について、さらに一人ひとりに合った具体的な支援内容を設定し支援計画を作成することを意識した。保護者様から「相談したことが課題として取り上げられ、家庭でも取り入れやすい」「毎回よく観察・把握をされていて、指標となる支援計画を作成されている」などの意見をいただいた。
- ・広報誌は、活動の目的や家庭で取り組める内容をわかりやすく記載するよう工夫をした。保護者様からは「のぞみだよりのおかげで、夫にも活動の様子を伝えることができる」と意見をいただいた。
- ・2次圏域の児童発達支援センターとして、八代圏域地域療育関係事業所連携会議を4回実施した。また、2カ所の新規事業所から当センターへの見学依頼があり対応した。
- ・新型コロナウイルス感染者発生によるサービス停止(6/27~7/1)の影響もあり、一日平均 8.5 人で一日 10 名の目標には届かなかった。

12. 利用状況

区分 月	開所 日数	児童発達支援			放課後等デイ			月間 人数	一日平 均人数	前年度 一日平均 人数	家庭 連携	関係 機関 連携	事業 所内 相談	保育所等訪問	
		契約 人数	延べ 人数	欠席 人数	契約 人数	延べ 人数	欠席 人数							実 人数	延べ 回数
4	20	19	62	12	42	92	20	154	7.7	7.9	3	7	6	2	2
5	19	19	67	12	43	95	11	162	8.1	8.8	0	4	20	2	2
6	23	20	65	14	43	83	21	148	6.4	8.9	0	6	14	2	2
7	21	22	62	13	43	89	20	151	7.2	8.2	0	6	19	2	2
8	23	23	85	12	43	124	15	209	9.1	8.4	0	2	9	3	3
9	21	24	92	12	43	98	12	190	9.0	8.9	1	5	24	4	4
10	21	24	87	15	44	97	15	184	8.8	8.1	1	3	16	3	3
11	21	25	82	15	44	102	13	184	8.8	8.8	0	10	20	0	0
12	21	26	84	17	44	100	11	184	8.8	8.4	0	5	28	2	2
1	21	27	81	14	44	95	21	176	8.4	8.1	0	2	11	0	0
2	20	28	97	9	42	87	18	184	9.2	7.2	0	7	7	1	1
3	20	28	102	16	39	93	12	195	9.8	7.4	0	0	7	0	0
計	251	28	966	161	39	1155	189	2121	8.5	8.3	5	57	183	21	21

13、令和4年度行事実施表

月別	行事関係	療育関係	研修会関係
4	4 三者会議 18 職員会議 19 八代圏域日程調整会/事業所連携協議会 7 21 25 施設長会	16 土曜療育(くつ洗い) 16 保護者交流会(バスボム作り) 26 市特別支援教育就学説明会 個別支援計画共有会議	18 八代市総合福祉センター消防計画 洪水時の避難確保計画
5	6 三者会議 10 庶務担当者会議 10 25 施設長会 16 監事会 17 八代市特別支援連携協議会/職員会議	11 25 ペアレントプログラム 14 土曜療育(たこ焼き) 26 先輩お母さん方との交流会 個別支援計画共有会議	17 要配慮者利用施設における洪水を想定した避難訓練研修 27 八代圏域スタッフ合同研修会 「療育とは」
6	1 三者会議 4 理事会 10 八代圏域通所支援事業所連携会議 13 職員会議 23 施設長会	2 風楽来所(見学) 2 交通安全教室(年長) 8 22 ペアレントプログラム 9 23 就学相談 11 土曜療育(バスボム作り) 個別支援計画共有会議	※6/27~7/1 新型コロナ感染者発生による サービス停止
7	8 児童発達支援センター代表者会議 12 熊本県実地指導 15 施設長会 19 職員会議 25 施設長会	4 8 学校見学 7 就学相談 13、27 ペアレントプログラム 14 あすでい来所(見学) 30 土曜療育(体操教室) 6 8 26 個別支援計画共有会議	5 拠点施設支援:理学療法士
8	2 三者会議 /10 職員会議 19 八代圏域障がい者支援協議会 30 施設長会	10 防犯について 23 24 異文化交流 28 土曜療育(体操教室) 30 個別支援計画共有会議 31 避難訓練(年中)	10 不法侵入者対応訓練
9	1 三者会議 6 八代市就学指導委員会 10 施設長会 13 職員会議 16 八代圏域通所支援事業所連携会議	8 9 13 26 就学相談 10 土曜療育(ラムネつくり) 12 学校見学 16 未就園児健康診断(大平小児科) 20 避難訓練(年少児) 21 個別支援共有会議	7 拠点施設支援:作業療法士 28 口腔ケアについて(スタッフ・保護者)
10	3 三者会議 18 職員会議 25 施設長会議	7 第2回特別支援教育就学説明会 7 21 ペアレントプログラム 14 拠点施設支援:作業療法士 22 土曜療育(体操教室) 26 個別支援計画共有会議	18 障がい者差別禁止・虐待防止研修 研修 24 消防総合訓練(放課後等デイ)
11	1 三者会議 4 八代市就学指導委員会 7 25 施設長会 16 職員会議 28 苦情解決委員会 29 理事会	4 7 18 ペアレントフォローアップ 8 拠点施設支援:理学療法士 12 土曜療育(体操教室) 25 ペアレントプログラム 30 個別支援計画共有会議	5 拠点施設支援:理学療法士
12	1 三者会議 9 氷川町就学指導委員会 13 21 職員会議 16 八代市就学指導委員会 26 施設長会	2 23 ペアレントプログラム 7 歯科指導教室(市) 8 公共機関バス乗車体験 10 土曜療育(アップルパイ) 21 個別支援計画共有会議	2 スキルアップ研修 14 お口のお掃除の仕方(県) 27 思春期精神保健対策専門研修会
1	4 三者会議 16 職員会議 17 八代市就学指導委員会 25 施設長会	14 土曜療育(体操教室) 16 ペアレントフォローアップ 30 個別支援計画共有会議	11 児童発達センターに求められること (両親集い研修資料) 18 成年後見制度啓発研修
2	2 三者会議 3 八代圏域通所支援事業所連携会議 16 八代市特別支援連携協議会 17 八代圏域障がい者支援協議会 20 職員会議/22 庶務担当者会議 24 施設長会	10 腹話術 16 消防総合訓練 18 土曜療育(体操教室) 21 27 個別支援計画会議	1 拠点施設支援:作業療法士 9 児発管理「意思決定」研修 28 障害者虐待防止権利擁護研修
3	1 三者会議 6 八代圏域ネットワーク会議 13 県集団指導/ 14 職員会議 23 施設長会 28 理事会	2 防犯教室 30 個別支援計画会議 10 フォローアップ研修 11 土曜療育(体操教室)	3 食育・給食担当研修研修

## 令和4年度八代圏域地域療育センター事業報告書

### 1. 住民相談等対応地域支援事業（訪問）

在宅障がい児等に対し、訪問の方法により、各種の相談・指導を行う。

	令和4年度	令和3年度
延べ件数	50	37

### 2. 住民相談等対応地域支援事業（外来）

在宅障がい児等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を行う。

	令和4年度	令和3年度
延べ件数	157	142

※電話相談：保護者159件 保育園181件

- ・相談後の家庭での様子や取り組みについて
- ・医療受診や療育の手続きについて
- ・地域の情報（医療機関や事業所等）について など

※電話による情報共有：保健師373件 その他の関係機関227件

※医療機関への紹介状・情報提供書・意見書作成：22件

提供先：八代市立医師会（八代市内小児科）、熊本県こども総合療育センター、  
熊本県福祉相談所、熊本赤十字病院他

### 3. 施設支援

障害児通所支援事業、障がい児への保育を行う保育所等の職員に対し、在宅障がい児等の療育に関する技術の指導を行う。

	令和4年度	令和3年度
延べ件数	108	111

○相談を受けた主な内容

- ・クラスの先生方の連携等について
- ・集団活動での難しさについて
- ・保護者への伝え方について など

内訳（延べ件数）

保育園（公立：22 私立：64）
幼稚園（公立：3 私立：5）
小学校（1）
その他（1）

### 4. 専門職支援事業

心理士、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士を配置する。在宅障がい児等への保育を行う保育所等の職員に対し専門的な観点を用いて支援技術等の向上を図る。また、在宅障がい児等に対し、訪問・外来の方法により、各種の相談・指導を行う。

心理士 1名：25回（半日） 1名：6回（半日）

作業療法士 1名：12回（1日） 2名：5回（半日）

理学療法士 1名：6回（半日） 言語聴覚士 2名：計23回（半日）

○相談を受けた主な内容

- ・心理士 : 発達検査、発達相談、
- ・作業療法士 : 体の使い方、覚醒、姿勢保持、手先の操作、動きの多さ
- ・言語聴覚士 : 構音検査、発音、吃音、コミュニケーション、言葉、要求の引き出し方  
摂食について
- ・理学療法士 : 体の使い方、運動遊び、椅子の調整

5. その他

(1) 八代圏域通所支援事業所支援

○3次支援機関である「熊本県こども総合療育センター」と「熊本県南部発達支援センター  
わるつ」からの支援を受けながら、圏域内の事業所支援を行う。

- ・八代圏域障害児通所支援事業所スタッフ合同研修会

テーマ「療育とは」

参加人数 82人

テーマ「ペアレントプログラム」全7回

参加 20事業所

○事業所への施設支援：16件

- ・研修（特性理解について、個別支援計画の立て方、療育プログラムの立て方）
- ・新規事業所へ療育支援体制について説明
- ・ペアレントプログラム（事業所研修の欠席時フォロー など）

○事業所訪問：11事業所を行政と同行訪問し、事業所の現状と課題把握を実施

○八代圏域支援日程調整会議

(2) 県教育事務所との連携

- ・八代地域特別支援連携協議会(6/9)

(3) 八代市学校教育課との連携

- ・八代市特別支援連携協議会 (2/16)
- ・八代市就学指導委員会 (6/24 8/26 11/4 12/16)
- ・八代市特別支援教育体制推進事業 (6/14:オンライン 8/22:オンライン 2/7:オンライン)

(4) 氷川町学校教育課との連携

- ・氷川町就学指導委員会 (9/9、12/9)

(5) 八代圏域障がい者支援協議会 (8/19 2/17)

- ・こども部会 (5/6 8/30 10/11 12/20、2/14)

(6) 熊本県こども総合療育センターからの支援と連携

- ・地域療育センター療育相談員研修・会議 (8/17 延期 11/11)

(7) 熊本県南部発達障がい者支援センター「わるつ」からの支援と連携

- ・「わるつ」が実施する八代圏域ペアレントメンター事業コーディネータとして参加
- ・ペアレントメンター・フォローアップ研修 (5/19、)
- ・ペアレントメンター合同研修会 (10/22)
- ・八代圏域保護者向け講座 (7/6)

(9) 八代圏域地域療育ネットワーク会議 (3/6)

- ・八代圏域実務担当者会議 (12/14 2/13)

## 6. 地域療育センターの現状と課題

### (1) 地域療育センター

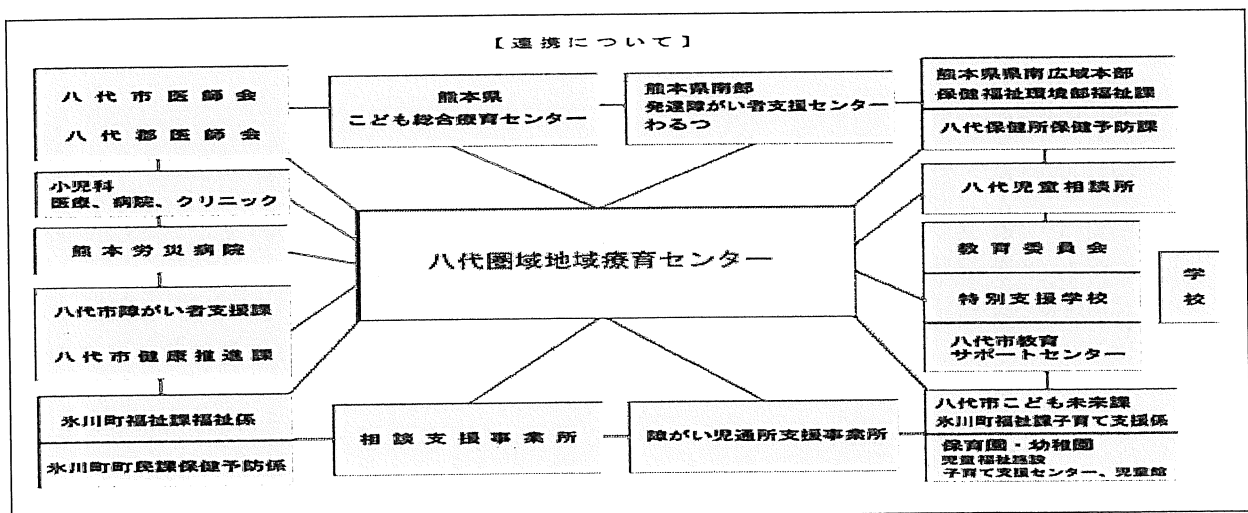
- 事業内容は、例年実施している事業の継続と地域の中核となる地域全体のネットワーク構築への取組と地域の課題解決への体制整備である。市・町と地域の課題について協議し、事業内容について検討する必要があると考える。
- 一次圏域で解決できず、より専門的な相談が必要な場合は二次圏域の相談できる縦の連携はできている。また、研修など必要に応じて三次支援機関に支援依頼の連携もできている。
- 2年ほどコロナ感染への防止から、保護者への研修等を実施できていないので、時期を見ながら、今後再開していきたいと考えている。
- 業務が多様化しており、どこを重点的にやっていくのか市・町と協議していく必要がある。

### (2) 相談業務について（在宅、外来、施設支援）

- 地域療育センターの相談できる場としては認知されてきている。また、専門職からの専門的助言や評価を受けられる体制は整っており、活用ができていると考える。
- 施設支援を利用される園には、初めに施設支援の目的を説明し、周知を図った。利用されない園には周知していく必要がある。また、園へのアドバイスが次の相談に繋がっていないこともあり、やり方を検討していく必要がある園が1～2園ある。
- ご相談では、保健師の同行も必要に応じていただいている。その場で子の見立てやこの先の支援方法を検討しながら役割分担ができている。保健師の異動等もあるので、毎年業務の説明や情報交換を行う機会が必要であると考えます。
- 保育園等のスキルアップに向けた取り組みとして、園で解決できる土台作りを計画し、今年度2園に参加して頂き取り組んだ。
- 学校からのご相談もあるので、教育分野に業務の目的、周知を図っていく必要がある。

### (3) 親子の関りについて（外来療育）

- 外来療育の中で、育児の悩みに応じ、親子活動の中で、実際に関わり方や声かけのタイミング、親子遊びを教えている。保護者が児の特性を知り、関わり方や支援方法について学ぶ場（教室）の提供が個別のみとなっているため今後小集団へとつなげていくかについて検討が必要である



# 令和4年度 共同生活援助事業 グループホームおおぞら荘 事業報告書

## 1. 設置目的

就労し又は就労継続支援等の日中活動を行っている利用者(知的障害者・精神障害者)に対して、地域において共同して自立した日常生活ができるよう必要な支援を行うことを目的とする。

- (1)設置者 社会福祉法人 八代市社会福祉事業団
- (2)ホーム名称 グループホームおおぞら荘
- (3)ホーム所在地 八代市麦島東町4号8番地・12番地  
(令和4年6月1日移転)八代市本野町991番地1
- (4)事業開始年月日 平成21年6月1日
- (5)定員 6名

## 2. 入居者状況(令和5年3月31日現在)

### (1)定員6名(男3名・女3名)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助	入居者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (2)性別

男女別	人数	計
男	3	3
女	3	3
計	6	6

### (3)市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	3	3	6
計	3	3	6

### (4)平均年齢

性別	総年齢	平均年齢
男	146歳	48歳
女	197歳	65歳
計	343歳	57歳

### (5)障害種別

性別	知的	精神	計
男	3	0	3
女	3	0	3
計	6	0	6

### (6)年齢別

性別	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~60歳	61歳以上	計
男	0	0	1	2	0	3
女	0	0	0	0	3	3
計	0	0	1	2	3	6

### 3. 対象者

対象者	対 象 者 像
知的障害者・ 精神障害者	健康で就労し又は就労継続支援等の日中活動を利用している知的障害者・精神障害者

### 4. 職員配置

管理者	サービス管理責任者	世話人
1	1（管理者との兼務）	3(4対1)

### 5. 支援内容

#### (1)日常生活支援

- ①居室清掃支援
- ②入浴への支援
- ③衣服の洗濯及び衣服の整理整頓への支援等
- ④買物への支援
- ⑤衣服の着脱への支援

#### (2)共同生活支援

- ①浴室清掃支援
- ②地域清掃支援
- ③食前の準備、食後の後片付け及び食器洗い等への支援
- ④余興の過ごし方への支援

#### (3)健康管理支援

- ①検温への支援
- ②薬の服用への支援
- ③歯磨き支援(食後)
- ④春～夏場においては、健康作りを目的として20分間程度公園等で散歩を行った。
- ⑤希望の里たいようと連携を取りながら対応した。

### 6. 支援計画

支援については、サービス管理責任者が、個別支援計画の原案の内容について、入居者又はその家族に対して説明し、文書により入居者の同意を得ることとし、個別支援計画を作成した際は、入居者へ交付し支援にあたってきた。

この個別支援計画は6ヵ月に1回以上定期的に個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて、個別支援計画の変更を行ってきた。

### 7. 地域との交流(地域貢献)

毎月、グループホームおおぞら荘周辺の地域清掃(空き缶拾い、ごみ拾い)を行った。

### 8. 職員の資質向上に向けた取り組み

内部研修(障がい者虐待防止研修)の実施と外部研修への参加。



## 9. 支援結果(まとめ)

### (1)日常生活支援

- ① 自分自身できることは、自ら行うことを基本にしてきた。(時々支援が必要)
- ② 入居者各々が自分自身の居室については、掃除を行い、清潔を保った。(時々支援が必要)
- ③ 日用品などの購入の要望が多く個別に買い物支援を行った。
- ④ 体調不良において入院することがあった。

### (2)共同生活支援

- ① 自由時間はテレビ鑑賞、または、買い物(外出)に出かける等楽しく過ごしていた。
- ② 外出した場合ホームへの帰宅時間等も各々、概ねが守れたが、連絡がなく遅くなることがあった。
- ③ トイレ・洗面所・お風呂・廊下など共有部分の掃除については、アルコール等で拭き上げるなどお互い協力し合い交替で行った。また、感染対策として世話人が再度、掃除支援を行った。
- ④ 食事について新型コロナウイルス感染症の対策として熊本県のリスクレベルを勧告し、個別に食事ができるよう対応した。必要に応じて個別の食事を行なった。
- ⑤ 地域清掃(ごみ・空き缶拾い)に入居者全員が積極的に行った。
- ⑥ 毎月、避難訓練(水害・地震含む)を実施した。

### (3)健康管理支援

- ① ホームへの帰宅後は手洗いうがいの励行、マスクの着用・消毒の徹底に努めた。
- ② 毎朝、自ら検温や健康チェックを行い健康管理に努めた。必要な場合には血圧などの測定を行った。(夜間時も含む。)
- ③ 服薬は、自らが薬箱等へセットできるよう支援し、服薬確認を行った。
- ④ 体調が悪い時には、世話人で対応し必要な場合においては、事業所及び家族に連絡を行った。また、通院(定期通院を含)が必要な場合においては病院・歯科通院支援を行った。(通院支援については増加傾向。)
- ⑤ 昨年に引き続き、新型コロナウイルスワクチン接種に同行支援を行った。
- ⑥ その他、新型コロナウイルス感染症対策として共有スペースに空気清浄機・パーテーションの設置。また、リスクレベルに応じた対応(面会の制限等)を行った。また、行事参加においても自粛した。

### (4)日中活動等への参加状況

就労場所	実 員	事業名	種 目				
			買物カゴ	公園	パン	印刷	軽作業
八代市立希望の里 たいよう	(男2・女3)	就労移行支援事業					
		就労継続支援B型事業	1	1	1	1	1
就労支援事業所 ステップ1	(男1名)	八代市上野町 3889-6	1				
地域移行	該当者無						

病気以外は休むことなく日中活動への参加を楽しみにしている。

## 10. グループホーム建設に係る報告

### (1)A棟新築工事関係(1棟目)

#### ①建築工事関係

- ・令和4年4月 完成・建物引き渡し
- ・令和4年5月 落成式(中止)
- ・令和4年6月 開所(移転)

### (2)B棟新築工事関係(2棟目)

#### ①補助金関係

- ・令和4年4月 熊本県障がい者福祉施設整備に係る補助協議について(通知)
- ・令和4年7月 熊本県障がい者福祉施設整備費補助金の内示(通知)
- ・令和4年7月 熊本県障がい者福祉施設整備費補助金の交付申請書の送付
- ・令和4年8月 建築工事業務委託の指名業者候補届出書の送付
- ・令和4年9月 指名競争入札結果及び入札立会届出書の送付
- ・令和4年10月 契約書・工事内訳書・工事着工報告書・工程表の送付
- ・令和4年11月 熊本県障がい者福祉施設整備費補助金の追加内示(通知)
- ・令和4年12月 熊本県障がい者福祉施設整備費補助金交付決定通知書(通知)
- ・令和5年3月 工事完成報告書・実績報告書の送付、竣工検査(熊本県より)
- ・令和5年4月 熊本県障がい者福祉施設整備費補助金入金

#### ②建築工事関係

- ・令和4年8月 建築工事見積業者の選定
- ・令和4年9月 建築入札方法・業者選定及び補正予算の理事会の承認
- ・令和4年9月 指名通知書の発送、現説の開催、指名競争入札の開催
- ・令和4年9月 指名競争入札の開催 → 建築工事業者(豊岡建設)の決定
- ・令和4年10月 入札結果報告、建築工事契約の理事会の承認
- ・令和4年10月 建築工事請負契約締結
- ・令和4年10月 建築監理業務委託契約締結(黄木設計室)
- ・令和4年10月 地鎮祭 工事着工
- ・令和4年10月 第1回工程会議(毎週水曜、計17回開催)
- ・令和4年12月 上棟式
- ・令和5年2月 外構工事請負契約締結(豊岡建設)
- ・令和5年2月 建築完了検査及び建築検査
- ・令和5年2月 完成・建物引き渡し
- ・令和5年3月 落成式(中止)
- ・令和5年4月 建物取り扱い説明
- ・令和5年4月 外構工事完了
- ・令和5年5月 開所(移転)

令和4年度行事実施表

(グループホームおおぞら荘)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	交流	その他
4	2 クリエーション 9 クリエーション 19 利用者健診 23 地域清掃 26 家族会総会	8 消防設備点検 23 避難訓練	12 世話人会議 26 世話人会議		26 新グループホーム見学
5	7・14・21 クリエーション 21 地域清掃 25-26 引越し 27 誕生会 27 旧ホーム片付け 28 クリエーション	21 避難訓練	18 世話人会議		16-17 新グループホーム見学会 19-20 新グループホーム見学会 23 新グループホーム見学会
6		25 避難訓練	20 世話人会議		24 グループホーム見学
7	2 クリエーション 9 クリエーション 23 クリエーション 30 地域清掃	30 避難訓練	19 世話人会議		
8	6 クリエーション 13 大掃除 27 地域清掃	27 避難訓練	18 世話人会議		2 高齢者関連施設セミナー 9 ワクチン接種 18 虐待防止・権利擁護研修 30 ワクチン接種
9	3・10 クリエーション	15 消防設備点検 22 浄化槽点検	20 世話人会議		20 虐待防止・権利擁護研修
10	1 地域清掃 8・22・29 クリエーション 29 地域清掃	1 避難訓練 29 避難訓練	20 世話人会議		20 虐待防止・権利擁護研修 21 ワクチン接種
11	5・26 クリエーション 11 誕生会 26 地域清掃	26 避難訓練	22 世話人会議		
12	3・10・17 クリエーション 9 誕生会・忘年会 28 鏡餅赤飯作り 29 地域清掃・大掃除	29 避難訓練	20 世話人会議		9 要配慮者施設防災研修 15-16 ワクチン接種
R5. 1	7・14・21・28 クリエーション 26 たいようお楽しみ交流会 28 地域清掃	28 避難訓練	23 世話人会議		30 コロナ予防対策研修
2	3 豆まき 4 クリエーション 25 地域清掃	25 避難訓練	21 世話人会議		
3	10 誕生会 25 地域清掃	25 避難訓練	22 世話人会議		14 熊本県集団指導

令和4年度 障害福祉サービス事業所 八代市立希望の里たいよう 事業報告書

1. 設置目的

常時介護を要する利用者への食事、入浴、排せつ等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他、身体機能又は生活能力維持向上のための支援、又は、通常の事業所に雇用されることが困難な利用者への就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い自立した日常生活又は社会生活ができるよう支援をすることを目的とする。

2. 利用者登録状況(令和5年3月31日現在)

事業名	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生活介護	登録人員	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	13
	入所			1									1
	退所					1							
就労移行支援	登録人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	入所												
	退所												1
就労継続支援B型	登録人員	67	66	64	64	64	66	65	65	63	62	62	63
	入所					2				1		1	
	退所	1	2				1		2	2			
合計		80	79	78	78	77	79	78	78	76	75	75	77

①定員77名（生活介護事業12名・就労移行支援事業10名・就労継続支援B型事業55名）

※出勤稼働率 74.4% 前年度 79.3%

②性別

事業別	男	女	計
就労移行支援	1	0	1名
就労継続支援B型	44	19	63名
生活介護	7	6	13名
合計	52	25	77名

④市町村別

市町村名	男	女	計
八代市	48	25	73名
氷川町	0	0	0名
芦北町	3	0	3名
菊陽町	1	0	1名
合計	52	25	77名

③平均年齢(満年齢)

性別	総年齢	平均年齢
男	2,233.4	46.2
女	1,080.6	47.0
合計	3,314.0	46.6

⑤障害種別

	生活介護	移行支援	継続B型	計
知的	10	0	48	58名
身体	2	0	8	10名
精神	1	1	7	9名
合計	13	1	63	77名

⑥年齢別

	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34 歳	35~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60歳 以上	合計
男	0	4	2	10	5	8	14	9	52名
女	0	1	0	4	1	12	4	3	25名
合計	0	5	2	14	6	20	18	12	77名

3. 職員配置状況(令和5年3月31日現在)

職 種	生活介護	就労移行支援	就労継続支援B型	計
	常勤換算後の人数	常勤換算後の人数	常勤換算後の人数	職員数
管理者	1	1	1	1
サービス管理責任者	1兼務	1兼務	1・1兼務	3(内1は管理者兼務)
看護師	1			2(非常勤)
職業指導員		1	9	9
生活支援員	1	1	1	3
就労支援員		1		1
目標工賃達成指導員			1	1
事務員兼生活支援員	1兼務(0.5)		1兼務(0.5)	1
合 計	4.5	3	13.5	20

4. 事業実施内容(生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

① 対象者

生活介護事業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
・常時介護が必要な者で障害程度区分3以上の利用者、または年齢が50歳以上で障害程度区分2以上の者。	・一般就労を希望する65歳未満の者。利用は原則2年間。	・就労経験がある者で、年齢や体力の面で企業や就労継続支援A型等で雇用されることが困難となった者。 ・就労移行支援事業を利用した結果、就労継続支援B型の利用が妥当と判断され、企業や就労継続支援A型事業の雇用に結びつかなかった者。 ・既に50歳に達している者。

② 支援計画

支援にあたっては、利用者個々の特性、性格、能力及びその家庭環境を総合的に把握し利用者本人及び家族の要望、意見等を十分に聞き、各自一人一人に適した個別支援計画を定め計画に基づき支援に当たってきました。また、この支援計画は必要に応じて、見直しを行い支援に当たってきました。

(生活介護・就労継続支援B型は、6ヶ月に1回以上・就労移行支援は、3ヶ月に1回以上)

生活介護(生産活動)

・フルーツキャップ折・ビーズ等

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3.5名	12名	243件	243日	1,386人	120,000円	139,470円

フルーツキャップ折、アルミ缶洗いや、ビーズプレスレットなど、個人に応じた日中活動を行うことができ、工賃支給により、意欲向上が図られた。

・就労移行支援事業(職業指導支援)

・印刷事業

職員数	利用者数	件数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
3名	12名	750件	243日	2,187人	13,682,000円	16,044,068円

利用者の能力向上(取り組む姿勢、仕分け、製本他)により、作業能率が上がった。  
コロナワクチン関係の印刷受注により、目標額を達成することができた。

・パン製造・販売事業

職員数	利用者数	年間個数	延べ日数	延べ人員	パン種類	目標額	実績額
3名	9名	36,715個	238日	2,124人	30種	5,366,000円	5,416,086円

主な販路は、委託販売として、(八代市役所売店、マックスバリュ、その他)対面販売として、官公庁、福祉施設、学校関係、一般企業等へ感染対策を十分に販売を展開してきた。  
コロナ感染拡大によりイベント開催や参加の自粛を余儀なくされた。

・就労継続支援B型事業(職業指導支援)

・買物カゴ洗浄事業

職員数	利用者数	個数	延べ日数	延べ人員	目標額	実績額
2名	11名	643,354個	241日	2,357人	8,303,000円	7,435,323円

コロナの影響で、受注数減。

・公園作業

職員数	利用者数	作業場所	目標額	実績額		
2名	16名	・麦島東公園 ・水無川公園 ・末広公園 ・上片墓園 ・金剛自然観察者用駐車場 ・熊本総合病院駐車場	3,688,000円	4,201,645円		
		・麦島東公園	作業稼働日数	143日	延べ人員	1,360人
		・末広公園	作業稼働日数	112日	延べ人員	707人
		・水無川公園	作業稼働日数	124日	延べ人員	846人
		・金剛自然観察者用駐車場	作業稼働日数	53日	延べ人員	273人
		・熊本総合病院駐車場	作業稼働日数	18日	延べ人員	216人
		・上片墓園	作業稼働日数	54日	延べ人員	339人
		・個人宅 庭の草取り	作業稼働日数	3日	延べ人員	15人

年間固定の公園以外にも、個人宅の草取りや、その他の作業を実施するなど目標額を上回ることができた。

・軽作業

職員数	利用者数	作業種類			目標額	実績額
2名	16名	フルーツキャップ折・箱折・EMボカシ販売・シール貼り・ふるさと納税返礼品に係わる作業など			1,697,000 円	3,547,976 円
作業種		個数	延べ日数	延べ人員	委託元	
フルーツキャップ		1,425,046 個	242 日	2,691 人	インターナショナル・ケミカル(下請)阿蘇郡	
箱折		69,596 個	39 日	174 人	すずきパッケージ(下請)八代市	
ふるさと納税返礼品に係わる作業		61,518 個	37 日	87 人	日本製紙木材(株)	
EMボカシ製造・販売		1,994 個	7 日	44 人	自主製品	
シール貼り等		11,999 枚	5 日	43 人	西田精麦 ひな祭り実行委員会(八代)	
トマト箱折り		99,800 枚	76 日	268 人	熊本青果物出荷組合	
段ボール折		6,030 個	48 日	248 人	児島段ボール	
スリーデーマーチ (参加記念品袋詰め)		1,900 個	4 日	13 人	市イベント推進課	
<p>重度者向けの作業種目として位置付け、実施してきた。 ふるさと納税返礼品に係わる作業や図書バーコード貼り作業などに取り組み、目標額達成。</p>						

① 利用者月額平均工賃

(全体の平均)

生活介護 名	就労移行 名	就労B型事業 名	一人当たりの月額平均工賃
636 円	16,336 円	17,002 円	13,927 円

5. 移行支援事業 就労基本訓練

<ul style="list-style-type: none"> <li>・期日 毎週火・木曜日</li> <li>・時間 15:30~16:00</li> <li>・利用者 1名 ・指導者 2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労への意識付け</li> <li>・挨拶の重要性について</li> </ul> <p>※利用者 1名に対しサービスを実施し就労移行の機能を果たした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に必要な心構えについて</li> <li>・履歴書の書き方</li> </ul>
---	---	--

6. 送迎サービス

たいよう送迎利用者			徒歩	自転車	自家用車送迎	自家用車	バイク
コース	車種	人員					
南廻り(郡築方面)	リフト付きマイクロバス	13名	11名	12名	8名	1名	1名
北廻り	29人乗りマイクロバス	12名					
鏡町廻り	8人乗りワゴン	6名					
日奈久廻り	9人乗りバン	4名					
金剛廻り	8人乗りワゴン	5名					
宮地廻り	4人乗り軽	4名					
計	6台	44名					
合計		44名	11名	12名	8名	1名	1名

※送迎支援を実施した結果 ・利用者定員の確保に繋がった。・出勤時の交通事故防止に繋がった。

## 7. 日常生活支援

- ・基本的な生活(挨拶、身だしなみ、清潔等)、金銭管理、交通安全等の支援
- ・自立するための段階的な支援
- ・利用者間のトラブルの未然防止に努める。(意見箱設置、口頭による意見要望)
- ・利用者の悩み、問題等への相談支援を行ってきた。

## 8. 健康管理

- ・出勤時の検温、体調確認、手洗いうがい、手指消毒、換気などコロナ感染症対策実施。  
(消毒器の設置、空気清浄機、イオン発生機の設置、パーテーション設置、食事場所の分散など)
- ・コロナに関する家族との連携。
- ・毎月1回の身体測定(身長、体重、血圧、体温)年一回の健康診断の実施
- ・サービス提供中、健康状態の把握に努めた。

## 9. 地域との交流・地域貢献

- ①中学校、高校生、短大、大学との実習を含めた交流、職場見学等の受入れを行った。
- ②個人、支援学校、大学等の実習を受け入れた。
- ③地域イベントへの参加。
- ④毎月1回施設周辺の清掃を行った。(ゴミ拾い、空き缶拾い、草取り)
- ⑤千の穂さんと共同で、施設に隣接する歩道と花壇の清掃を実施した。
- ⑥災害時の地域住民の受入れや福祉避難所開設。
- ⑦依頼に応じ、地域団体への駐車スペースや会議室、コミュニティーホール貸出
- ⑧福祉団体からの依頼に応じ勉強会の開催。

## 10. 職員の資質向上に向けた取り組み

- ①定期的な内部での勉強会の実施と外部研修への参加。
- ②資格取得に向けた支援体制の確立。

## 11. 支援結果

### (1)生活介護事業

- ・入浴、食事、トイレ介助・学習活動、創作活動、余暇活動、生産活動は利用者に合わせ個別支援を行った。
- ①数字、文字(ご自身の名前を中心に)繰り返し学習する事で、ご自身でサインができるようになった。
- ②創作活動では、季節ごとのイベントで周囲利用者の方々にも楽しんでもらえるように展示を行った(クリスマスツリー・七夕飾り等)。
- ③余暇活動では、ウォーキング、下肢のリハビリ等で筋力の向上。ドライブや社会科見学で外出する喜び・季節を感じる事ができる喜びを養う事ができた。
- ④生産活動を取り入れる事で、メリハリのある一日を過ごす事・残存能力を維持できる事ができた。

### (2)就労移行支援事業

#### ①パン製造・販売

- ・利用者各々自らが担当する作業に対して責任感が出てきている。
  - ・パン販売をとおして、接客、電卓、レジ等の技術向上に繋がった。
  - ・毎日、朝礼時に挨拶・接客時の声だし訓練(いらっしやいませ・ありがとうございました)を行うことで全員が大きな声でいえるようになってきた。
  - ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ※コロナ感染拡大の中で、生産意欲やモチベーションの低下などなく意欲的に取り組む事が出来た。



## ②印刷作業

- ・印刷関連機器(パソコン、製本機、リ付け機、計数機)の操作について利用者の技術向上がみられる。
- ・指導により作業上で使用する数字の把握ができるようになってきた。
- ・全体的に利用者の自主性、集中力、忍耐力、持続力等が身についた。
- ・作業場内での協調性が高まってきた。
- ・細かい技術面の支援により、利用者の方々一人ひとりが取り組める作業内容を増やすことが出来た。
- ・他作業場の手伝い等で、より多くの作業を経験することができた。

## (3)就労継続支援B型事業

### ①買物カゴ洗浄作業

- ・作業内容を効率化することで、より作業を進めることができるようになった。
- ・自らの役割を理解し自主的に行動に移せるようになってきた。
- ・話しやすい環境を作ることで、自然と挨拶・返事が出来るようになり、発言する機会も増えてきた。

### ②公園作業

- ・作業前の準備を意識できるようになった。
- ・作業準備が協力して行えるようになった。
- ・それぞれの役割を意識できるようになった。

### ③軽作業、

- ・挨拶、返事の習慣が身についた。
- ・フルーツキャップ折、トマト箱折り、ふるさと納税返礼品に係わる作業、ボカシ製造等を通して、各作業への感  
心が高まり勤労意欲に繋がった。又、協調性、持続性が身についた。
- ・手先を使う作業が多い事から、手先等の機能回復に繋がった。
- ・作業を通じて勤労意欲が身についてきた。
- ・作業種類が複数あるため個別に合った作業を提供可能。

### ④一般就労移行者(就職)

#### 就労移行支援事業

事業名	氏名	性別	年齢	採用日	就職先
就労移行 支援事業	大菅一真	男	20歳	令和5年4月1日	ス・パ・ス・ポ・ツ セビオ
	2年間の就労移行支援により、ゆめタウン内にあるス・パ・ス・ポ・ツセビオへ就職				

## 11. 自主事業の実施

たいよう祭(自主事業)家族会と協議し中止。

## 12. 苦情解決・第三者委員への報告

①前年度アンケートをもとに、苦情・要望に関する案件を報告した。(令和4年9月)

②回答率 72%

③職員会議にて内容を精査、共有し、支援内容の改善に努めた。

※第三者委員へ提出する重大な案件はなかった。

令和4年度行事实施表

(八代市立希望の里たいよう)

月別	行事関係	防災対策	施設管理	作業実習生関係	交流	研修会関係
4	4-8利用者体調週間 2 レクリエーション 9 レクリエーション 19 利用者検診40歳以上(保健センター)	27 避難訓練	5 臨時職員会議 13 生活介護会議 13 支援員勉強会 14 就労移行会議 14 就労B型会議 20 支援員勉強会 20 職員会議		13 地域清掃 27 施設見学 スマイル 28 実習打合 八代支援学校	11 サビ管更新研修 1名
5	7 レクリエーション 9-13 利用者体調週間 14 レクリエーション 21 レクリエーション 28 レクリエーション	25 避難訓練	11 生活介護会議 11 支援員勉強会 12 就労移行会議 12 就労B型会議 18 職員会議 18 支援員勉強会	5/23-6/3 実習 鏡わかあゆ 6-17 実習 鏡わかあゆ2名 27-30 実習 八代支援2名	18 地域清掃 31 中短実習前事前訪問1名	
6	6-10 利用者体調週間	22 洪水想定避難訓練	15 就労移行会議 15 就労B型会議 15 支援員勉強会 16 生活介護会議 22 職員会議 22 支援員勉強会	6-21 実習 中短1名 6-17 実習 鏡わかあゆ2名 27-30 実習 八代支援2名	2 インター実習生見学(市)1名 8 地域清掃 15 サビ管業務説明 まちなか生活研究所1名 15 施設見学 GH荒神町1名 17 施設見学 スマイル1名 18 マックスイベント参加 30 実習反省会	9 八障協議会 1名 10・11・16 サビ管更新研修 1名
7	2 レクリエーション 4-8 利用者体調週間 6 利用者熱中症講座 9 レクリエーション 23 レクリエーション(ドライブ・買物支援)	20 避難訓練	13 生活介護会議 13 支援員勉強会 14 就労移行会議 14 支援員勉強会 20 支援員勉強会 21 職員会議	25 実習 GH荒神町1名	6 地域清掃 6 資源回収	15 八障協議会 1名 20 城南ブロック施設長会議 1名 22 施設協会入権研修 1名 22 サビ管更新研修 1名 26 八障協総会 1名
8	1-5 利用者体調週間 6 レクリエーション 10-15 ワックスがけ	24 避難訓練	17 生活介護会議 17 職員会議 17 支援員勉強会 18 就労移行会議 18 就労B型会議 24 支援員勉強会	19 実習 学園大2名	4 地域清掃 4 資源回収 18 実習打合 八代支援	3-4 キャリアバス研修 1名 30-31 スーパーバイザ-養成研修会 1名
9	3 レクリエーション 5-9 利用者体調週間 10 レクリエーション	21 総合防災訓練	14 支援員勉強会 15 就労B型会議 15 生活介護会議 15 就労移行会議 21 支援員勉強会	12-27 実習 鏡わかあゆ1名 26-30 実習 1名 9/26-10/7実習 八代支援2名	15 地域清掃 15 資源回収	12-13 キャリアバス研修 1名 20 認定審査会 1名 22 サビ管更新研修 1名 26-27 キャリアバス研修 1名
10	3-7 利用者体調週間 8 レクリエーション 22 レクリエーション 27 社会科見学(公園作業利用者) 29 レクリエーション	26 避難訓練	12 生活介護会議 12 支援員勉強会 13 就労B型会議 13 就労移行会議 19 職員会議 19 支援員勉強会	24-28 実習 鏡わかあゆ2名	12 施設見学 鏡わかあゆ 12 地域清掃 12 資源回収 27 実習打合 ルーテル学院	20 食品衛生講習会 1名 25-26 業務改善研修 1名 28 八障協議会 1名
11	5 レクリエーション 7-11 利用者体調週間 26 レクリエーション	24 避難訓練	9 生活介護会議 9 支援員勉強会 10 就労B型会議 10 就労移行会議 16 職員会議 16 支援員勉強会	7-11 実習 ルーテル学院大学1名	9 地域清掃 9 資源回収	8 記録研修会 1名 12-13 実習指導講習会 1名 25 インボイス職員研修 6名 29-30 スーパーバイザ-養成研修 1名
12	3 レクリエーション 5-9 利用者体調週間 10 レクリエーション 16 利用者検診40歳以下(医師会) 17 レクリエーション 28 仕事納め式 餅つき、赤飯作り 28 大掃除	21 避難訓練	7 生活介護会議 8 就労移行会議 8 就労B型会議 15 職員会議		7 一斉クン作戦 千の穂との美化運動 8 資源回収 8 植柳校区区民協へ勉強会開催 15 中短実習サリメンション 22 施設見学 菊愛会1名	9 要配慮者利用施設防災対策研修 1名
R5.1	4 仕事始め式 6 利用者成人のお祝い 7 レクリエーション 10-13 利用者体調週間 14 レクリエーション 21 レクリエーション 26 利用者お楽しみ会 28 レクリエーション	25 避難訓練	11 生活介護会議 18 職員会議 19 就労移行会議 19 就労B型会議	10 体験 菊愛会1名 30-2/10 実習 中短2名	11 千の穂との美化運動 11 施設見学 スマイル1名 27 施設見学 かね1名	
2	3 節分豆まき 4 レクリエーション 6 出資団体及び指定管理者監査(説明) 6-10 利用者体調週間 7 交通安全教室 20 出資団体及び指定管理者監査(ヒアリング) 24 出資団体及び指定管理者監査(講評)	15 避難訓練	15 生活介護会議 15 職員会議 16 就労移行会議 16 就労B型会議	1 体験 平成病院1名 6-10 体験 スマイル1名 1/30-2/10 実習 中短2名 20-3/6 実習 中短2名	8 地域清掃 27 市新採職員研修打合せ	28 県虐待防止権限擁護研修会 1名
3	6-10 利用者体調週間 9 社会科見学(印刷利用者) 10 社会科見学(カゴ洗浄利用者) 18 社会科見学(カゴ洗浄利用者) 17 社会科見学(生活介護利用者) 20 社会科見学(パン作業利用者) 23 社会科見学(軽作業利用者)	15 総合防災訓練	1 支援員勉強会 7 就労移行会議 7 就労B型会議 7 支援員勉強会 8 生活介護会議 15 職員会議	20 体験 菊愛会1名	8 地域清掃 18 高田コミセン祭り参加 23 施設見学 スマイル1名	13 県集団指導 2名 10 県集団指導 4名
合計				実習(体験)件数 19件	交流件数 38件	